

2015 年第 1 回日本地球化学会幹事会 議事録

日時: 2015 年 2 月 7 日(土) 14:00-18:25

場所: JAMSTEC 東京事務所

出席者: 川幡会長、山本副会長、野尻副会長、鍵、南、石橋、折橋、原田、益田、塚本、平田、鈴木、岩森、小畑、川口、角皆、寺田、奈良岡、日高の各評議員、オブザーバーとして小木曾編集長、高橋 TF リーダー、清水監事、津野年会 LOC

欠席者: 大河内、佐野、山岡、藪田の各評議員

1. 審議事項

1.1. 2014 年第 3 回評議員会議事録の承認

- ・ 2014 年第 3 回評議員会議事録が承認された。

1.2. 国際文献社との 2015 年度契約について

- ・ 2015 年度業務委託契約が承認された。
- ・ 学会ホームページの更新作業・運用費について(更新回数が年間 165 回と多い。当初は月 5-6 回を想定していた)、前年度と比べて 3 倍近い見積が、事前の説明もなく提出された。山本副会長が、国際文献にこれまでの経緯を含めて確認し、交渉したところ、月あたり 1 万円の値上げということで合意できた。しかし、国際文献が本件を効率的に処理するため、ホームページ更新は 1 週間単位でまとめて行うという国際文献の提案を受け入れることとなった。なお、年会のホームページは別契約であるので、更新頻度については現状と同じであろうと予想されるが、本件は重要なので、山本副会長が国際文献に確認することとなった。なお、ホームページ更新が年あたり 150 回を超える現状を考慮すると、契約価格が非常に安いと認識できる。
- ・ 次回、大幅な値上げがある場合は、毎年、8 月末までに日本地球化学会に見積書を提出し、9 月の評議員会で審議したい旨、国際文献に申し入れた。
- ・ 和文誌「地球化学」については、今回、前年度と変更がなかったため見積が来なかったが、見積書を毎年提出してもらおうよう、再確認することとなった。
- ・ 国際文献が提出した電子投票による選挙システム構築およびメンテナンスの見積は 50 万円以上で、高額であるため不採用とすることとなった。別途、15 万円以下で可能であれば電子システムを導入する方向で、選挙管理委員会で検討することとなった。

1.3. 2015 年度各種委員会等

- (1) 学会賞等受賞者選考委員長が承認された。
- (2) 鳥居基金選考委員長が承認された
- (3) 名誉会員推薦委員会は任期 2 年目であるため継続することが承認された。
- (4) 選挙管理委員会: 角皆潤(委員長)、南雅代の各評議員が承認された。
- (5) 将来計画委員会については、2014 年度に引き続き、山本委員長の下に 3 つのタスクフォース(TF) および 1 つのワーキンググループ(WG)を置くこととした。
 - ・ TF1「地球化学の現状と将来」: 鍵裕之(リーダー)
 - ・ TF2「JSPS, 大型研究」: 高橋嘉夫(リーダー)、佐野有司(リーダー)
 - ・ TF3「2040 年ロードマップ」: 平田岳史(リーダー)、鈴木勝彦(リーダー)
 - ・ 出版 WG: 山本鋼志、野尻幸宏、塚本尚義、小木曾哲、鍵裕之
- (6) 日本化学連合理事: 山本鋼志

1.4. 日本地球惑星連合(JpGU)関連委員

- (1) 大会プログラム委員: 横山哲也、石川晃、中川書子の各会員が承認された。
- (2) 教育委員: 瀧上豊、津野宏の各会員が継続することが承認された。
- (3) 男女共同参画委員: 藪田ひかるの会員が承認された。

- 1.5. 山田科学振興財団の 2015 年度研究助成候補者推薦について
 - ・高橋嘉夫会員の提案を本会から推薦することが承認された。
- 1.6. 「50 年会員」顕彰および「終身会員」設立に関する提案(会員幹事)
 - ・50 年顕彰について原案が承認された。会員としての長年にわたる学会への貢献に対し、日本地球化学会として感謝の意を表するとともに、引き続き本会の会員として活動していただくために、50 年顕彰が有効であると認識された。今年度から実施予定である。2015 年対象者は 9 名で、総会に於いて表彰する。年会への参加登録に際して、名誉会員に加えて 50 年会員の項目を増やして無料での登録を可能とすることなど、運用の仔細については、第 2 回評議員会までに詰めることとなった。これに併せて、シニア会員相当の年齢の会員も含めた懇談会[シニア懇親会(仮称)]についても、今年度の年会から開始する予定で、第 2 回評議員会までに準備案を作成することとなった。
 - ・正会員の新たな種別として、終身会員の設立案が承認された。設立後は 60 歳以上の正会員(会員継続は 20 年以上)が評議員会で定められた会費(例えば 95,000 円)を納入すれば、終身会員に移行できる。すでに 60 歳以上の一般会員やシニア会員から終身会員への移行に際しての会費の支払いについては、2 年程度の移行措置期間を設け、不利益を生じないような会費設定を行うことなど検討する予定である。また、安否確認も含めた運用面や会費、会則改定などの仔細については、第 2 回評議員会までに検討し、最終案を総会にかけることとなった。
- 1.7. 電子ジャーナルに関する緊急アピールについて(和文誌編集長)
 - ・会長から会員宛に本件に関する情報を ML によって流すことが承認された。

2. 報告事項等

2.1. 庶務

2.1.1. メール審議・調査

- (1) 研究計画公募要領について承認した(11/2)。
- (2) 電子ジャーナルへのアクセス整備に関する緊急アピールについて検討し(12/12 締切)、第 1 回評議員会で承認した。
- (3) 2015 年度学会賞・鳥居基金選考委員の web 投票を行った(12/12 締切)。
- (4) GSJ-GS workshop@24th March 案について検討し(1/31 締切)、第 1 回評議員会で承認した。

2.1.2. 鳥居基金

- ・H26 後期は、申請のあった 4 件(海外渡航 3 件, 国内集会 1 件)のうち 2 件が採択された(10/7 評議員 ML へ報告)
- ・H27 前期は、海外渡航 1 件、国内集会 1 件の応募があった。なお、今回より応募受付は電子メールに変更した。現在、委員会において選考中である。

2.1.3. 2015 年度学会賞等の応募状況

- ・学会賞 1 件、奨励賞 4 件、功労賞 1 件の応募があった。なお、今回より応募受付は電子メールに変更した。現在、委員会において選考中である。

2.1.4. 科研費(公開講演会)

- ・横国大 LOC と申請書を作成し、申請した。

2.1.5. 協賛・共催等の予定

- [後援] 第 13 回微量元素の生物地球化学に関する国際会議(主催:ICOBTE2015Fukuoka 組織委員会, 2015 年 7 月 12-16 日, 福岡国際会議場)
- [共催] 第 52 回アイソトープ放射線研究発表会(主催:日本アイソトープ協会, 2015 年 7 月 8-10 日, 東京大学弥生講堂)
- [後援] 第 21 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(主催:廃棄物資源循環学会ほか, 2015 年 6 月 18-19 日, 九州大学伊都キャンパス)
- [共催] 2015 日本放射化学会年会・第 59 回放射化学討論会(主催:日本放射化学会, 2015 年 9 月 25-27 日, 東北大学川内北キャンパス)

2.1.6. 広告

- ・ 12 月 10 日に各企業へ請求書を送付した。
- ・ 広告申込書を学会ウェブサイトからダウンロードできるようにする予定である。

2.1.7. その他

- ・ テラパブと今年度の覚書を取り交わした(2014 年 12 月 2 日)。
- ・ 独立行政法人大学評価・学位授与機構より、国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦依頼があり、会長・副会長と協議の上、3 名の会員を推薦した。

2.2. GJ

2.2.1. 発行・編集状況

(1) 発行状況(2 月 1 日現在)

2014 年 vol.48, No.5,6 が、9 月,12 月に発行された。
2015 年 vol.49, No.1 が、2 月 1 日に発行された。

(2) 編集状況(2 月 1 日現在)

投稿数:453 報(+80)、受理:158 報(41%)、却下:226 報(59%、取り下げを含む)、取り下げ:6 報、審査中:63 報、AE 選考中:0 報

2.2.2. その他

- ・ 年間 100 万円程度で英文校閲の契約を行うことが承認された。
- ・ 電子投稿システムをアトラス社より見積を取ったところ、年間 60 万円程度かかることがわかった。科研費で支払うとしても、若干額が学会からの持ち出しになる。科研費のある 3 年間は問題ないが、その後に資金があるかどうかは不透明であるため、少し様子を見てから判断することとなった。
- ・ 今年度の GJ 賞候補を選考し、学会賞等選考委員会に推薦した。

2.3. 和文誌「地球化学」

2.3.1. 特集記事のオープンアクセス

vol.48, No.4 に掲載の特集「太陽系探査と宇宙化学:「はやぶさ」「かぐや」「はやぶさ 2」そして、その先へ」関連の記事を、J-STAGE でオープンアクセスにした。

2.3.2. 「地球化学」の活性化について

- A. 企画総説に新カテゴリーを 2 つ増設
- B. 特集号の随時募集(年 1 回に限定しない)

2.3.3. 企画中的特集(12 月発行 vol.49, No.4 に掲載予定)

「福島原発事故から 4 年(仮)」

2.3.4. 投稿規定・編集方針の改訂 主な変更点

- ・ 記事カテゴリー「付録表付き解説」を削除する。
- ・ 掲載論文を機関リポジトリに登録する場合のルールを追加する。
- ・ 引用文献の表示順ルールを追加する。
- ・ 図をウェブ版のみカラーにする場合にキャプションに「(Color online)」と明記することを追加する。
- ・ 企画総説記事は「招待論文」として扱い、論文タイトルページにその旨を表示することを追加する。

2.3.5. 発刊予定

vol.49, No.1(2015 年 12 月末発行予定)

企画総説「地球化学の最前線」1 報・報文 2 報・総説 1 報・訂正記事 1 報・学会ニュース

2.3.6. 編集状況

- (1)受理済:0 報、査読中:2 報(報文 1, 受賞記念論文 1)
- (2)依頼中(企画総説:2 報、総説:1 報、受賞記念論文 2014 年分:5 報、2013-2005 年分:7 報)

2.3.5. そのほか

- ・未掲載の受賞記念論文(故人を除く)が 20 本弱あることが報告された。

2.4. 企画

2.4.1. 2014 年度年会(第 61 回大会)について

年会報告がニュース No.219 に掲載されている。

2.4.2. 2015 年度年会(第 62 回大会)について

会期は 2015 年 9 月 16 日(水)~18 日(金)、会場は横浜国立大学常盤台キャンパス(横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1)で、公開講演会を 19 日(土)に情報文化センター情文ホールで開催予定である。ショートコースは 15 日(火)に計画している。

2.4.3. 2016 年度年会について

ゴールドシュミット会議開催なので多少変則的になる。評議員経験者を主体として名大・京大・大阪市立大で LOC を編成した。会期は 2016 年 9 月 14 日(水)~16 日(金)、会場は大阪市立大での開催を予定している。

2.4.4. GSJ-GS workshop

Geochemical Society の現会長、次期会長の来日を機会として、科学的な交流としてのイベントを実施する提案。3 月 24 日(火)午後に東京工業大学キャンパスでの開催を予定している。

2.5. 広報

2.5.1. 講師派遣事業について

【平成 26 年実績】依頼のあった学校の件数は 23 校(含む中止 2 校)、交通費を希望した数は 2 校、講師が交通費の都合をつけたケースの数は 5 校で、全体として派遣実績は 18 校であった。

2.5.2. JpGU

地球化学会展示ブース申し込みを行った。

2.5.3. ゴールドシュミット 2015@プラハ

Goldschmidt 2015 において、地球化学会のブースを展示する予定である。

2.5.4. 年会プレスを富山年会で行った。

2.5.5. ニュース配信&地球化学ニュース

- ・ 会員自身からの配信はすでにできるようになっているが、異動等でメールアドレスが変更となった場合、会員登録の修正だけでは国際文献の担当者にすぐに伝わらず、ML に反映されない場合がある。
- ・ 容量に制限があり、長文メールは発信されないため、できるだけ短く納めていただきたい。

2.6. 会計

2014 年会計は、収入においては、会費入金(8-12 月分)、一部の広告料、「地球化学」誌の売り上げ分が、支出においては研究成果公開促進費分が組み込まれておらず、まだ閉じていない。しかし、旅費、編集費等、いくつかの項目において削減が見込まれるため、大幅な赤字決算にはならないと予想される。

2.7. 会員

会員数、入退会については別紙参照。

2.8. GC

- ・ 日本地球化学会としても、来年の Goldschmidt 2016 Yokohama/Tokyo を成功させるべく、会員にはなるべく今年プラハで開催される Goldschmidt 2015 への参加を促すよう、メールなどで宣伝することとなった。
- ・ 個人的なつながりを利用して、Goldschmidt 2016 Yokohama/Tokyo の海外への宣伝を評議員にお願いしたいとの依頼があった(宣伝・協力要請のための手紙の電子ファイル送付)。

2.9. TF2

- ・ 土岐会員から申請予定の琉球大学の概算要求の提案に対し、学会長から推薦書を送ることとなった。
- ・ 大型研究計画についての意見交換を行った。学会として時間をかけて取り組んで行く必要性が認識された。

2.10. TF3

TF3 では 50 年後の地球化学会の夢ロードマップを作成することになっており、これまでに大学生・大学院生に向けたロードマップ案を作成した。評議員会を通じて、高校生を対象としたロードマップ(専門的な知識を持たない方にも分かるロードマップ)の作成も必要であるとの指摘があった。連合大会に参加する高校生に見せてコメントをもらうべく、5 月中旬までに新しいロードマップを作成することとなった。

2.11. 今後の幹事会・評議員会予定

- ・ 2015 年第 2 回幹事会:5 月下旬～6 月上旬
- ・ 2015 年第 2 回評議員会:メール会議、6 月中
- ・ 2015 年第 3 回幹事会:年会の約 1 週間前
- ・ 2015 年第 3 回評議員会:9 月 15 日(火) 横浜国立大学
- ・ 2015 年第 4 回評議員会(引き継ぎ評議員会):9 月 18 日(金)横浜国立大学
- ・ 2015 年第 4 回幹事会(引き継ぎ幹事会):11-12 月

(庶務幹事・山岡香子)